

## 津波避難の3原則

群馬大学大学院 片田敏孝 教授 監修

### 1 想定にとられるな

ハザードマップの津波浸水域は、1つの想定にすぎません。  
実際には想定どおりの津波が来るとは限りません。

### 2 最善をつくせ

次に来る津波は実際どこまで浸水するかわかりません。  
その時に考えられる最善を尽くしましょう。

### 3 率先避難者たれ

まずは自分の命を守り抜いてください。あなたが率先して避難することで、その姿を見た多くの人も避難します。



## 津波避難先の安全レベルについて

和歌山県では、津波避難先について、安全レベル(1~3)を設定しています。海南市内の各津波避難先の安全レベルは、ハザードマップに記載しています。



- まずは、「レベル3」をめざして逃げてください。「レベル3」に避難する時間がない時は「レベル2」へ。
- 浸水の危険がある地域で「レベル2・3」に避難する時間がない時は「レベル1」に逃げてください。

レベル3 ★★★	浸水の危険性がない地域に、より標高が高くより離れた安全な場所。
レベル2 ★★	浸水想定近接地域で、「レベル3」へ避難する余裕がない場合の緊急避難先。
レベル1 ★	浸水の危険性がある地域で、時間的に「レベル2・3」に避難する余裕がない場合の緊急避難先。